

よくある設置上のトラブル事例と解決方法

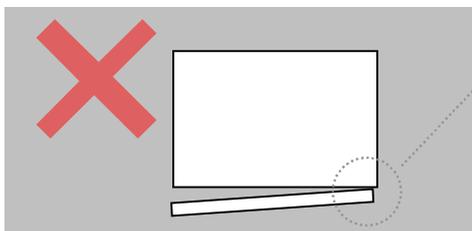
トラブル事例： 開き扉が最後まで閉まりきらない・隙間が出る

以下のケースが考えられます。

ケース A: 丁番の調整範囲を超えている。(扉を閉めようとしても、浮くように開いてくる。)

原因： 扉の丁番調整を強引に行ない、調整範囲を超えています。

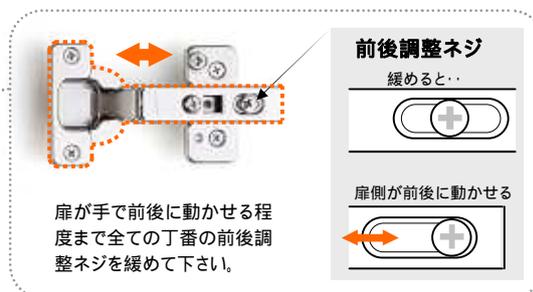
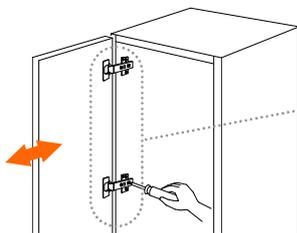
本体と扉のクリアランスが少ない為、閉まりきらない



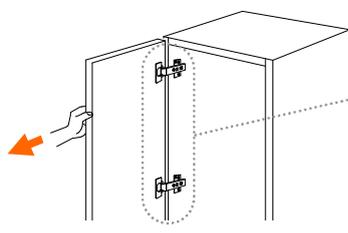
解決方法

以下の手順で丁番の前後調整ネジを使い、扉を手前に出して下さい。

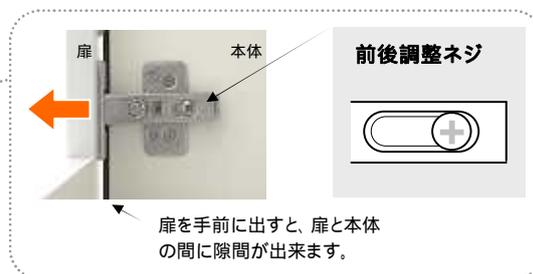
全ての丁番の前後調整ネジを緩めます。



扉全体を手前に出し、調整ネジを固定します。



扉全体を引く様にして、扉を手前に出します。



上記で改善しない場合は・・・

上記を実践し改善しない場合は、丁番の調整ネジを初期の状態に戻し、床の水平調整を行った後、丁番調整ネジでの再調整を行ってください。



初期の状態

前後調整ネジ

ネジを中心に戻す



左右調整ネジ

飛び出しを2mm程度に戻す

ケース B : 耐震ロックが扉の内側の受け金具に接触している

原因 : 受け金具が本体ロックの突起部に干渉している。



解決方法

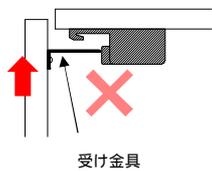
丁番で扉の上下調整して下さい。

扉内側の受け金具の上下位置を調整して下さい。

受け金具
ビスを緩めて金具を上下に可動させる

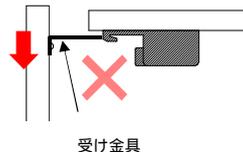
【受け金具が低い場合】

受け金具の位置を上げます。

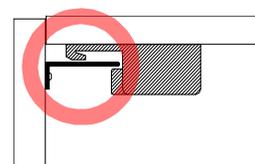


【受け金具が高い場合】

受け金具の位置を下げます。



【正常な位置】



ケース C : ダンパーの動きが悪く扉に干渉している

原因 : 丁番の左右調整ネジがダンパーに干渉しています。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出してダンパーが機能しなくなり、扉が閉まりきらなくなります。

ダンパーが干渉している際の丁番の状態



左右調整ネジが3mm以上突起しているとダンパーが干渉する。

ダンパーが干渉している際のダンパーの状態



ココにこそすれキズがあります。

解決方法

左右調節ネジを左に回し、ネジの突き出しを3mm以下に抑えて下さい。

丁番調整後、ダンパーが元の丁番位置に戻せない場合は、別の丁番に取付けて下さい。



ダンパーの取付け・取り外し方は【商品説明書】をご参照下さい。

トラブル事例 : 扉ダンパーが効かない、ゆっくり閉まらない

原因：前ページ（P.9）の

【 開き扉が最後まで閉まりきらない・隙間が出る】のケースCと同様の原因です。

その他、丁番とダンパーが干渉していると以下の様な不具合も発生します。
同様の解決方法を行なって下さい。

- ・ダンパーが作動しない。
- ・ダンパーが取付けられない。
- ・ダンパーが外れやすい。

解決方法

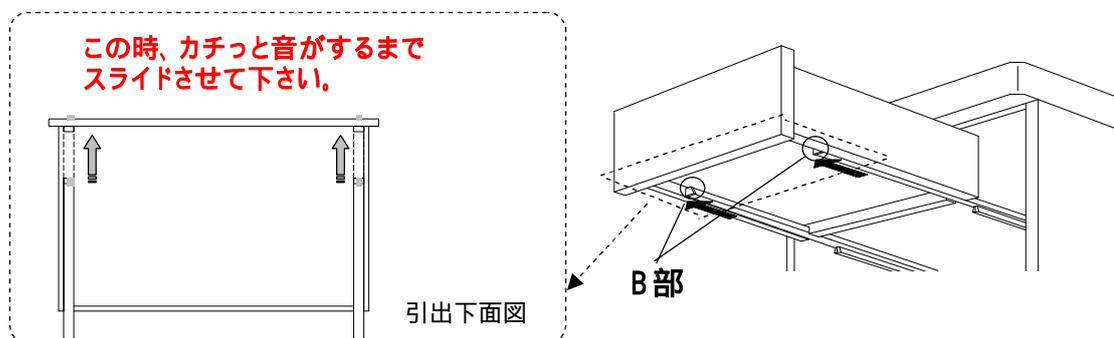
前ページ（P.9）のケースCの解決方法をご参照下さい。

トラブル事例 : サイレントレールが閉まりきらない

原因：引出しとレールが固定されていない可能性がございます。
一度引出しを取外した場合などに考えられます。

解決方法

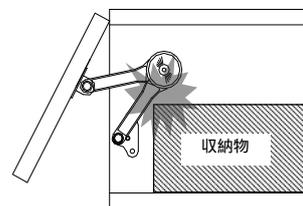
下図を参考にレールのB部を前へスライドさせ、引出しとレールを固定します。



トラブル事例 : フラップ上置の扉が閉まりきらない

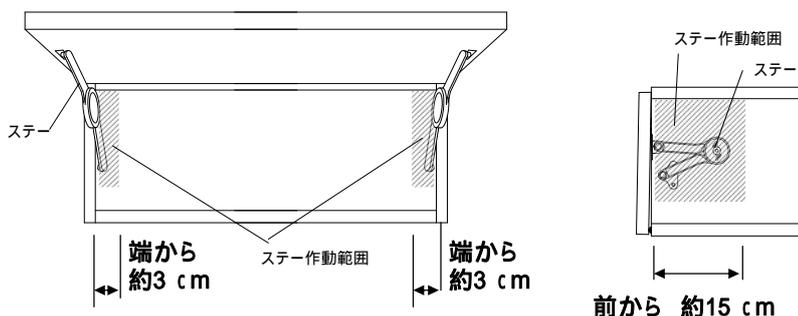
原因：扉を支えるステーの作動範囲に収納物があると
ステーが収納物にあたり、扉が閉まりきら
なくなります。

扉の当たり止め（バンポン）がある為、当たり止めの
厚み分（2mm程度）隙間が開く設定になっています。



解決方法

ステーの作動範囲（下図斜線部分）
に収納物を置かないようにして下さい。

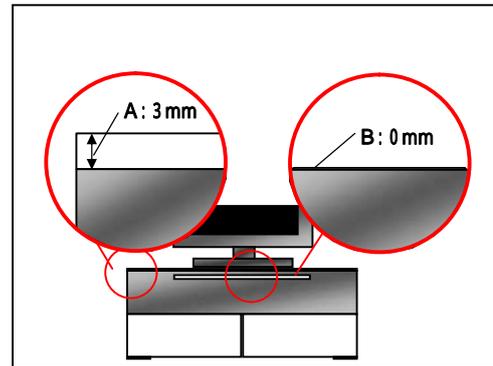
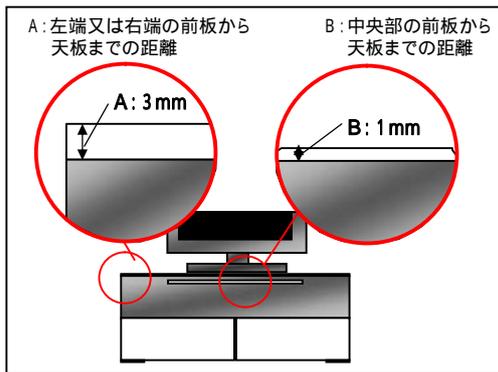


トラブル事例：テレビを設置したら、天板が沈んでしまう

木製品の特性上、荷重をかけると若干天板は沈みます。

・前板の頂点から天板の頂点までの距離を測ります。

A (端) に対して B (中央) の沈んだ距離が 約 2mm 以内 の範囲が正常な状態です。



例：Aの距離が3mm
Bの距離が1mm
沈んだ距離が 約2mm であれば
TVを載せた場合の正常な状態(沈み具合)です。



それ以上沈んでいる場合、
以下のケースが考えられます。

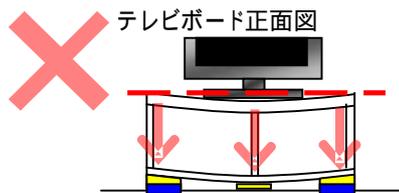
ケース：テレビボードの四隅にフェルトを貼った。

解決方法

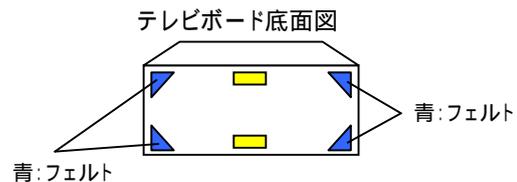
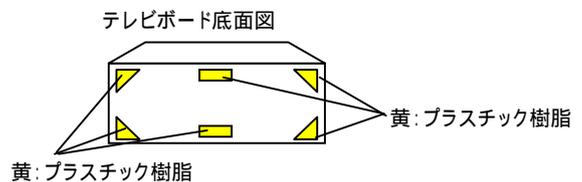
テレビボード底面についているすべてのプラスチック樹脂にフェルトを貼り付けてください。

パモウナの商品底面には床を傷つけないために、厚さ3mmのプラスチック樹脂が取り付けられています。プラスチック樹脂は商品の四隅だけでなく、荷重のかかる部分に取り付けられています。

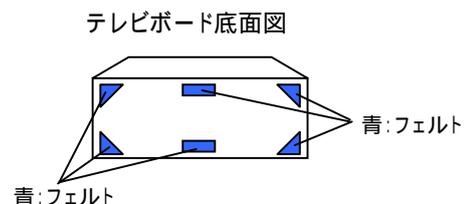
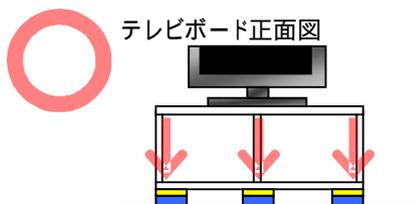
四隅のプラスチック樹脂にフェルトを貼ると・・・



テレビボードと床の間に隙間ができ、天板が沈みます



全てのプラスチック樹脂にフェルトを貼ってください。



ケース：床の微妙な高低を受けて沈んだ。

解決方法

敷板等でテレビボードを水平にしてください。

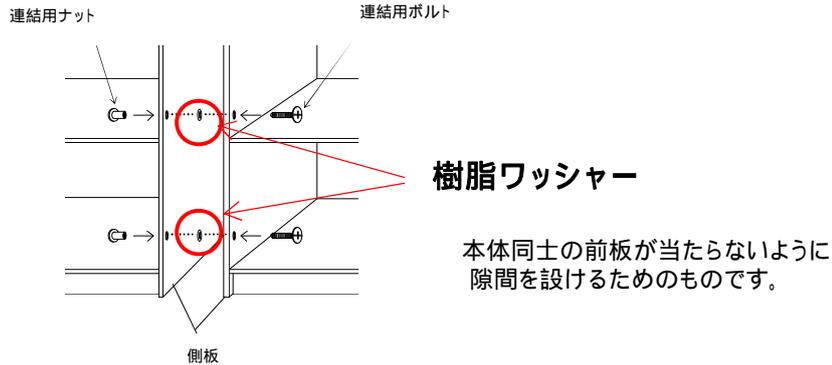
天板が大きく沈んでいる場合は、床の高低差が大きい可能性があります。住宅のいろいろな場所に設置し、床面が水平になっているかどうか状況を確認してください。設置する場所のみで天板が沈む場合は、テレビボードと床の間に敷板を敷き調整します。

トラブル事例： 組合わせ商品で、下台の引出し同士がぶつかる

原因：下台の連結時に樹脂ワッシャーを付けていない可能性がございます。

解決方法

下台同士の上に樹脂ワッシャーを取付けて下さい。

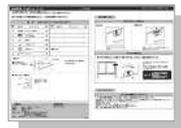


トラブル事例： 組立時に特に注意を要する商品

以下の商品は組立や調整方法が特殊なものです。
組立説明書を確認せずに組立や調整を行なった場合、**不具合や破損の危険性**がございますので、必ず商品説明書に従い組立・調整を行なって下さい。

- ・ QSシリーズ・・・・・・・・扉の調整方法
- ・ DAシリーズ・・・・・・・・デスクの組立方
- ・ NUシリーズ・・・・・・・・下台と天板の組立方

参考 資料



商品付属の
【商品説明書】をご参照下さい

商品説明書（部品袋の中にあります。）